

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般教育学習については、十分に対応していると思う。さらに、家庭学習を増やす取り組みをしてはどうか。 ・ 体験学習や小・中間の連携など大いに活用できていると思う。 ・ 学力生活実態調査から授業改善をベースとした学力向上や効果的な少人数指導、放課後学習により学力向上が図れつつあるが、授業に工夫がない13%の教員には授業力向上に意識改革を望む。 	3.0
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の教育は、日々の「挨拶」から始まると思う。学校訪問時に生徒が元気よく挨拶するので、安心な気持ちになる。 ・ 基本的な生活習慣確立の促進、思いやりに満ちた人間関係及び社会との関わり作りなどを行い、心身ともに健全な育成が図れている。 ・ 学校が楽しくないという2割の生徒の事情を把握して欲しい。 ・ 「命の大切さや人の心、社会のルールなどについて考えた行動ができる」生徒の割合が、学年が上がる毎に高くなっていることを評価する。 	3.5
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動指導など、先生方の苦勞が目に見え、長時間労働にならないよう先生方も休養しながらの教育を願う。 ・ 食育については家庭との連携を深め、食生活の見直しを中心に基本的な生活習慣を確立して欲しい。 ・ 体育については、授業及び体育的行事の充実が図られている。 ・ 保健だよりや学校通信、保健講演会などを通じ、子どもたち自身の健康・安全に対する意識が高まりつつあるので、引き続き取り組みを期待している。 	3.5
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校における正門周辺の見守りなど、十分な対応ができていると思う。ただ、校外に於いて家庭や地域がいかに対応するかも大切であると思う。 ・ 日々の登校指導や下校指導を全教員で取り組み、よい効果が出ている。 ・ 防災意識は常日頃からもつことが不可欠であることと、自分の命は自分で守ることの大切さを指導して欲しい。 ・ 安全な学習環境、生活環境の保持は学校の最優先事項であると思う。 ・ 交通安全やスマホ等の情報管理に関し、保護者や地域と連携し、未熟な生徒に対して不断の取り組みをお願いする。 	3.0
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との関わりはそれぞれの事情があって難しいが、PTAなどの連携で十分に対応できていると思う。 ・ 意識して実施しているが、教育活動の情報公開、オープンスクールや授業公開の実施をもっと保護者にアピールした方がいいと思う。 ・ 家庭や地域との連携なしに子どもが抱える問題を解決するのは難しい。教職員全員が共通理解し、課題解決に取り組んで欲しい。家庭・地域からの要求には責任や役割をはっきりさせることも必要だと思う。 	3.0
■教育目標 1 自他共尊重する心の育成 2 自立心、克己心の育成 3 個性の伸長、豊かな創造性の育成 4 豊かな人間関係力、誠実な心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の特性があって難しいが、各個人が何が得意なのか、どこを伸ばせばいいのかなど、日々の中で観察してもらっているのを有り難く思う。 ・ 教員の自己研修・読書・研修会への参加、教科間の連携を深め、バランスの取れた成長を実現するために重点目標を設定して取り組んで欲しい。 ・ 教育目標を具現化するため、様々な取り組みをされていることに敬意を表す。難しいことだが、目先の結果ばかりを気にせず、一人ひとりの子どもの成長を促す教育を期待する。 	3.5
■研究テーマ 主体的・対話的で深い学び <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生を含めた外部の人材活用を図りながら、個人の発揮しやすい能力の活性化につなげて欲しい。 ・ 生徒の能動的な授業参加、教員の授業改善の推進などを意識的に指導し、良い方向に進んでいる。 ・ 9割の先生がテーマを肯定しているということは、生徒に付けたい学力に対応しているのだろうが、具体的な研究の資料が欲しい。 	3.0
■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各先生方のご尽力に頭がさがる。 	
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B